

鈴木京二郎 （あきと） 劇作家。明治二十六年五月十日東京生れ、大正十三年十月六日歿（八九三一九四）。筆名伊豆江二郎、江二郎、豊島屋主人、鈴木せんご等。大倉商業學校夜學部卒。銀行員を経て、大正五年支社入社、雑誌「新演藝」の編輯に従事し、傍ら自作を発表。代表作は「次郎吉蠟悔」、「生きまごゝる小平次」。

著書、戯曲集「コラシヤメンの父」（大正九年五月十日支社）、「次郎吉蠟悔」（大正十一年二月十二日新潮社「現代脚本叢書」）、「写得右衛門夫婦」（大正十四年四月十五日春陽堂「讀物文藝叢書」）、「鈴木京二郎戯曲全集」（大正十四年五月十日プラトン社）、「生きまごゝる小平次」（大正十五年四月二十日春陽堂「現代戯曲選集」）等。